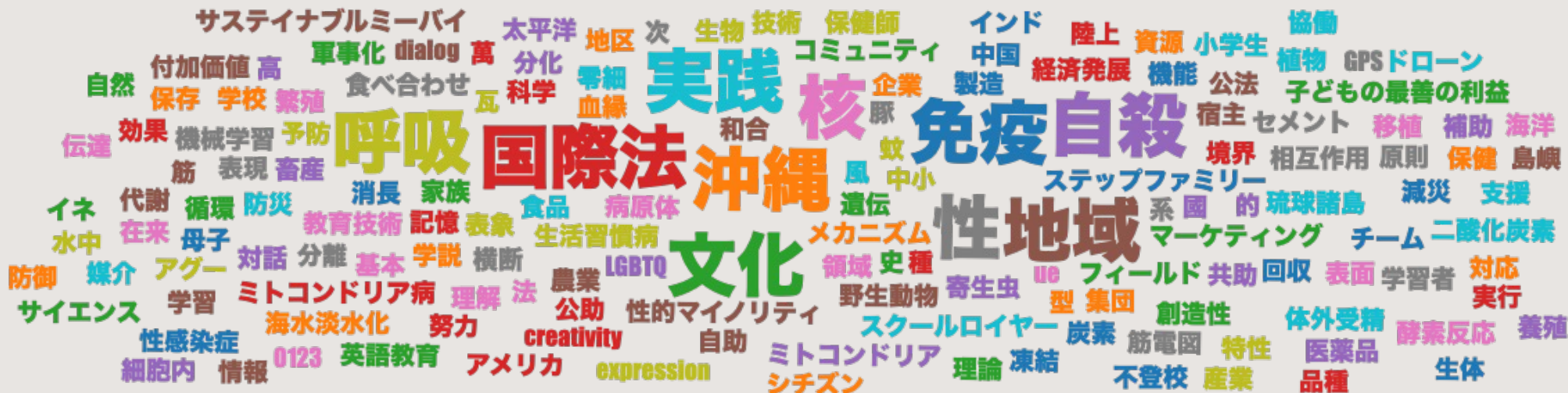




研究企画室 稻嶺・石田

UNIVERSITY
OF THE RYUKYUS

琉大100人論文について

琉球大学研究企画室では、本学研究者と県内企業および地域との交流を目的として、交流イベント「琉大100人論文2024」を企画しています。

このイベントは、本学研究者の現在取り組んでいる研究や、これから取り組みたい研究のアイデアを発信し、企業の専門家や地域の方と意見や感想を自由にやりとりするものです。組織や分野を超えた良縁が生まれ、新しい発見や取り組みに繋がることを期待しています。

100人論文とは

付箋コメントを
介しての交流

「100人論文」は、京都大学 学際融合教育研究推進センター発祥の学際的研究創出イベントであり、琉球大学では学内研究者交流を目的に「琉大100人論文」として2023年に初めて実施しました。

匿名の研究紹介（ポスター）に対して、閲覧者も匿名で付箋コメントを残す形式により、自由な意見交流を行います。

100編の論文や、100人で1編の論文を書くことをめざすわけではなく、多くの研究者が交流するイベントであることから「100人論文」と称しています。



京大100人論文紹介より



京大100人論文紹介より

ポスターの例

発表研究者は、自身の研究を3つの観点から紹介します。それぞれ100～300文字で表現することで、異なる背景の方にも研究のエッセンスを伝えます。

- 私の研究はこんな感じです。
- こんな研究がしたい。こんなコラボできたら嬉しい。
- 私、こんなことができます。
- ・ ポスターは名前・所属を伏せて掲示し、閲覧者も匿名でコメントを付けます。
- ・ 気になるコメント・参加者へは、IDを基に運営がマッチングサポートします。

A33 気候変動に対する 沖縄の陸の生き物の適応限界と それを修飾する人間活動の解明



私の研究はこんな感じです

気候変動は動植物の生態系に影響することが知られています。そこで私は、気候変動に伴う気温の上昇、大気中二酸化炭素の増加、気象イベント（雨、台風など）の変化によって、沖縄の陸域の動植物生態系がどのように影響を受け、今後どうなるのかを、環境科学の視点から研究しています。加えて、沖縄の陸の生態系を維持するための具体的な取り組みに繋げるため、私達が放出する排水・排気中の化学物質が、気候変動の影響をどのように修飾するのかを、実際に測定したデータを用いて明らかにしています。

私も〇〇を明らかにする研究をしています。私は、生物学が専門なので、異なる視点で面白い。情報交換したいですね。

B11

沖縄県民としてとても関心のある研究です。頑張ってください。

B29

こんなコラボできたら嬉しい

これまでに、平均気温の上昇が、●種植物のサイズや昆虫の種数と負に相関することが分かっています。さらに、河川中〇〇濃度が低い流域では、上記の相関がより顕著になることを明らかにしています。詳細を明らかにし、対策に繋げるため、因果関係を明らかにするような植物学や動物学の実験、経済的インパクトの算出、〇〇を減少させるフィルターの開発、事業活動における〇〇を減らす取り組みなど、様々な分野とコラボレーションできればと考えています。

同じ目的を、〇〇のアプローチで行っている研究を知っています。分野は異なりますが、比較すると面白そうです。

C40

我々は〇〇の技術や資料を持っています。一緒に何かできそうですか？

C13

同じ課題を持っています。具体的なアイデアはないですが、情報交換だけでもいいでしょう。

B10

疑問・感想・提案 などのコメント

具体的に、〇〇はどんな観点から抽出されるのでしょうか？

C20

私、こんなことができます

公開されている気象データや動植物観測データを用いたシミュレーションに加えて、環境中の特定の化学物質の測定などが可能です。フィールドで動植物の観察や観測を行う研究者とのネットワークを活かした取り組みも可能です。

私は〇〇種の魚類について、特に水産資源の観点から興味があります。海域でも同様の研究は可能ですか？

B29

沖縄でこんな研究が行われていることを初めて知りました。私の会社では、△△を扱っています。専門的な意見を伺いたいです。

C30

研究の紹介

今後のアイディア とコラボレーション の希望

異分野への アピール

2024年は学外交流版を開催します

2024年は県内企業や他大学，地域の方との交流を目的に，学外交流版を開催します。研究の視点だけでなく，現場のニーズなど多様な視点の意見が集まることで，地域課題の解決に資するようなプロジェクトに繋がることも期待しています。

例えば

- 企業の企画・研究・開発等の担当者
- 連携コーディネーターの方
- 公設試験所などの研究担当者
- 県や市町村の職員
- 琉球大学の研究に興味がある方

こんなコラボできたら嬉しい

上記の他に、養殖飼料の研究開発を重要課題のひとつとして取り組んでいます。現在は県内の未利用資源を原料とした飼料開発を進めており、持続可能な社会の実現を目指しています。県内の未利用資源の情報・利用アイデアがあればご意見いただければ幸いです。

A19の方とコラボできるのでは？と思いました。B42

養殖した魚をビジネスモデルに展開する際、生産の安定性、原価計算、ブランド構築に基づいた流通ルート設計が必要だと思います。そして、養殖技術のパッケージが確立されたあと、養殖家を募るのが課題になるので中小零細企業とのコラボができればいいと思います。A3

ビジネス目線のコメントなども期待

B化し、検索
の高いAIがあ
と良さそうに
思いました。B
4

2024年開催について

学外交流版①

5月31日（金）



STARTUP LAB RYUDAI

今年の琉大100人論文は、琉球大学のスタートアップコミュニティの交流拠点「琉ラボ」からスタートします！当日はトークイベント「私の100人論文の楽しみ方」も開催予定ですので、学内外からのご参加をお待ちしています！！

開催時間：10:00～18:00

お好きな時間にお越しください。

トークイベント詳細はこちら

〒903-0129

沖縄県中頭郡西原町千原 1番地

琉球大学 地域創生総合研究棟1F

学外交流版②

6月7日（金）



Okinawa Innovation Lab

琉大100人論文初の学外開催は、沖縄の新しい価値を創造する拠点「おきなわイノベーションラボ（沖縄銀行本店1階）」が会場です！地域企業との共創を紹介するセミナーも開催予定です。皆さま、お気軽にお越しください。（ちらし♡）

開催時間：11:00～16:00

お好きな時間にお越しください。

セミナー詳細はこちら

〒900-0015

沖縄県那覇市久茂地3丁目10-1

沖縄銀行本店1階

学内交流版

6月14-19日 & 21-26日



琉球大学附属図書館&医学部分館

今年も上原と千原の2キャンパスの図書館で合計2週間の開催です。6月24日にはトークイベントも開催予定です。学外の方も参加可能ですので、お好きなタイミングでゆっくりと何度でもご参加ください。

【6/14-19】〒903-0125

沖縄県中頭郡西原町上原 2 0 7

琉球大学附属図書館医学部分館1F

【6/21-26】〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町千原 1

琉球大学附属図書館本館2F

当日はイベントも開催します

私の100人論文の楽しみ方

- ・ 日時：2024年5月31日（金）13:30～14:30
- ・ 会場：STARTUP LAB RYUDAI 琉ラボ

琉球大学地域創生総合研究棟1F

内容：

- 経験豊富なコメンテーターが「私のコメント」を紹介します！学術、産学連携、地域連携など多様な視点からのコメントを、参加者の皆さまの「私のコメント」の参考にしてください。

コメンテーター：

- 木暮一啓 企画・研究担当理事
- 羽賀史浩 共創拠点運営部門 特命教授・琉ラボエグゼクティブプロデューサー
- 小島 肇 地域連携推進機構地域共創企画室 副室長・准教授

研究を地域課題の解決に活かす ー産学官金連携による食資源循環プロジェクトー

- ・ 日時：2024年6月7日（金）13:30～14:30
- ・ 会場：Okinawa Innovation Lab

沖縄銀行本店1F

内容：

- 循環型社会の実現を目指し、COI-NEXT（育成型）のプロジェクトリーダーとしても活動された琉球大学の平良東紀 教授が、大学研究者と地域との共創の事例を紹介します。
- 平良東紀 琉球大学農学部教授

ポスター閲覧やコメント貼り付けは、午前中～夕方の開場時間中可能です。お好きな時間にお越し頂きます。

琉大100人論文2024

「琉大100人論文」で検索！



※ 琉大100人論文(2023)の研究紹介文より作成したワードクラウドです。機械処理の過程でキーワードが分割されているものがあります

琉大100人論文は、琉球大学の研究者相互の交流、研究発信、および学外との交流を目的とした企画です。「論文」とありますが、まったく堅苦しくないイベントです。たくさんのご参加をお待ちしています！

対象

琉球大学の研究にご興味がある方なら
どなたでもご参加いただけます（無料）

ねらい

主に企業や地域の方々、他大学への発信や交流を目的
としています。発表タイトルなど詳細はWEBから

DAY 1

日時：2024年5月31日（金）10:00～18:00
会場：STARTUP LAB RYUDAI 琉ラボ（琉球大学）
中頭郡西原町千原1番地
琉球大学 地域創生総合研究棟1階
トーク：「私の100人論文の楽しみ方」13:30～14:30
共同研究や連携活動の経験豊富なコメントーターが学術、産学連携、地域連携の視点から「私のコメント」を紹介します！

DAY 2

日時：2024年6月7日（金）11:00～16:00
会場：Okinawa Innovation Lab
那覇市久茂地3丁目10-1 沖縄銀行本店1階
セミナー：共創の取り組み紹介 13:30～14:30

研究を地域課題の解決に活かす共創活動の事例を、現役研究者が紹介します！

詳細&受付



↑ クリック ↑



↑ クリック ↑

琉大100人論文とは

琉大100人論文は、研究発掘とマッチングのイベントです。京都大学の学際的研究創出イベント「京大100人論文」を参考にし、匿名の発表表に対して付箋でコメントすることで自由な意見交換を目指します。直接の交流に繋がることも可能です。琉大100人論文が、研究者同士だけでなく、大学と地域との交流の場となり、組織や分野を超えた良縁が生まれ、新しい発見や取り組みに繋がることを期待しています。

※WEBからお問い合わせください。

多くの方のご参加をお待ち
しています！

参加お申込み

詳細およびお申込み方法はウェブサイトをご覧ください。

<https://ura.skr.u-ryukyu.ac.jp/100nin2024/>

「琉大100人論文」でも検索可能です。